

接続詞の種類

① 順接



前の内容が原因・理由となり
後に結果や結論がくる。

だから、すると
それで、そこで、したがって

など

② 逆接



前の内容と対立するような
ことが後にくる。

しかし、ところが、でも
けれど、だが、けれども

など

③ 並列・添加



前の内容とを対等のことを
後ろに並べる。

また、そして、それから
そのうえ、しかも、さらに

など

④ 対比・選択



前のことがらと後のことがらの
どちらかを比べたり選んだりする。

それとも、あるいは
または、もしくは、

など

⑤ 説明・理由・例示・補足

前の内容の説明や理由、例や補足を
あらわす。

なぜなら、つまり、
たとえば、ただし

など

⑥ 転換



話題を変えてあとの事柄に
続ける。

さて、ところで
では、それでは

など

次の□に入る接続詞を選んでみましょう

時間通りに家をでた。**しかし**間に合わなかった。

このどろくつはせまい。**しかも**暗くて何も見えない。

カレーを食べようか。**それとも**ラーメンを食べようか。

とてもつかれている。**なぜなら**昨日おそくまで宿題をしたからだ。

緑の野菜は体に良い。**たとえば**ピーマンやきゅうりなどだ。

いっしょうけんめい勉強をした。**だから**百点をとれた。

こんにちは。**ところで**今どこに住んでいるのですか？

しかし しかも それとも ところで だから

なぜなら たとえば